



模擬講義一覽



学類	専攻	講義NO.	開講時間	会場		講師	講義テーマ・概要
				建物	教室		
人間発達専攻		①	11:00 ~ 11:30	L棟	L-4	住吉 チカ	「心理学とは? 認知心理学を中心に」 心理学を学ぶと「人のところがわかる」と考えている人も多いと思います。しかし、実際にはそのような学問ではありません。「人内面での情報処理」を、行動・観察・調査を通して推察していくことが、主な研究内容になります。本講義では、「認知心理学」を例として、現代の心理学の内容や研究アプローチについて紹介いたします。
		②	11:00 ~ 11:30	M棟	M-2	佐久間康之	「早期英語教育は有効か?」 2020年度から小学校の高学年では英語が「教科」として、中学年では「活動」として学習が開始されます。日本の公立学校で行われる早期英語教育の効果はどの程度なのでしょう。この有効性について海外の言語(英語)環境と比較しながらお話していきます。
		③	11:45 ~ 12:15	M棟	M-1	内田千代子	「発達障害とは?」 最近よくテレビなどで話題になっている「発達障害」についてお話します。学校や家庭で、どんなことで困るのか、どんな援助ができるのかについて考えてみたいと思います。
		④	14:25 ~ 14:55	L棟	L-4	松下 行則	「道徳をどうとくか?」 激動の時代がやってきます。社会や経済のグローバル化や少子高齢化が進みます。激動の時代を生き抜く子どもたちには、主体的に能動的に問題を解決する力が必要になってきます。そんな生き方を支える道徳科の授業はどうなっていけばいいのでしょうか。みなさんと一緒に問題解決型の授業を創ります。
		⑤	14:25 ~ 14:55	M棟	M-1	白石 昌子	「絵本の世界・子どもの世界」 子どものために優れた絵本が、たくさん作られてきました。「優れた絵本」と言われるには、それなりの理由があります。さまざまなジャンルの「優れた絵本」をとりあげながら、絵本とは何か、絵本の中に子どもがどのように表現されているか、絵本にみる子どもの心など、多面的に絵本とふれあう30分です。
文化探究専攻		⑥	11:00 ~ 11:30	M棟	M-1	角間 陽子	「自分のできることで生活や地域の問題に取り組んでみよう」 「自分のできることで」を生活経営学では「生活資源」といいます。生活経営学は生活の質を高め、よりよく生きることを追究しています。生活資源を充実させ、活用することは、生活や地域を豊かにすることにつながります。あなたの秘めたる生活資源を発見し、他の人と協力して生活や地域の問題に取り組む体験をしてみませんか?
		⑦	13:00 ~ 13:30	M棟	M-2	和田 正樹	「実験で確率を求める」 身近な道具を用いて「ビュフォンの針」の実験で確率を求めて、理論値との比較を行います。理論値を用いることにより、円周率の近似値を求めることができることを紹介します。時間に余裕があれば、理論値を微積分と確率密度関数の駆使により求める方法にも触れます。
		⑧	13:45 ~ 14:15	L棟	L-4	高田 英和	「文化と社会を読む」 「ディズニー(The Walt Disney Company)」は、私たちの良く知っている作品(アニメーション映画)を数多く出しています。代表的なものとして、例えば、「シンデレラ」「くまのプーさん」「トイ・ストーリー」が挙げられます。この講義では、「ディズニー」作品が、如何にその時代の思潮と密接に関連しているのかを見ていきます。
		⑨	13:45 ~ 14:15	M棟	M-1	牧田 実	「コミュニティってなんだろう? まちづくりってなんだろう?」 コミュニティもまちづくりも日常的に使われる言葉になってきました。けれども、あらためて問うてみましょう。コミュニティとはなにか、まちづくりとはなにか、それぞれ定義せよ。さて、うまく答えられましたか? この講義では、社会学という学問の視点から、これらの概念の意味を探り、あわせて事例を紹介いたします。
スポーツ芸術創造専攻		⑩	11:45 ~ 12:15	L棟	L-4	蓮沼 哲哉	「東京オリンピックとレガシーについて」 2020東京オリンピックパラリンピックが開催されます。1964年に開催された東京オリンピックは日本を大きく変えました。世界最大のスポーツの祭典であるオリンピックの影響は計り知れないものがあります。2020東京オリンピックパラリンピックは、「復興五輪」とも呼ばれています。福島に未来に、東北の未来に、日本の未来に、このオリンピック開催がもたらす「レガシー」について、解説していきます。
		⑪	13:00 ~ 13:30	M棟	M-1	渡邊 晃一	「ARTとは何か? 《モナ・リザ》にみる美術の解剖学」 2015年、日本テレビの「ルーブル美術館 特別番組」のなかで私は《モナ・リザ》を監修しました。本講義では《モナ・リザ》に隠された秘密を軸に、ART(アート、美術、芸術)とはなにか、今日の絵画や映像メディア表現、幼稚園や小学校、中学校の教育の問題と絡ませながら探っていききたいと思います。
		⑫	13:00 ~ 13:30	音楽棟	音楽講義室(201)	横島 浩	「旋律と和音」 西洋の古典音楽が始まって以来、旋律にはそれに付けられるに相応しい和音(伴奏)が想定されながら作曲されています。しかし、旋律に付けられるべき和音には正しいものがあるわけでもなく、どのような和音を付けるのかは作曲家(編曲者)のセンスに委ねられることとなります。この模擬講義は、ある旋律に付けられた和音(伴奏)の可能性を、過去のある作品を分析することにより考えてみることで識ろうと試みるものです。
		⑬	14:25 ~ 14:55	M棟	M-2	杉浦 弘一	「アスリートのコンディショニング」 競技力を向上させるために行っているトレーニングには、疲労が伴います。疲労を上手にコントロールし、より良い状態でトレーニングすることができれば、高い競技力を身につけることにつながります。より良い状態でトレーニングに臨む方法である「コンディショニング」について考えてみましょう。

学類	専攻	講義NO.	開講時間	会場		講師	講義テーマ・概要
				建物	教室		
行政政策学類	社会と文化専攻	①	12:30 ~ 13:00	M棟	M-23	田村奈保子	「芸術と社会: 17世紀オランダとフェルメール」 美術・文学などの芸術作品は、創作された当時の社会背景から切り離されてあるのではなく、大きな影響を受けているものです。また、それゆえ、作品は当時の様子を今に伝えてくれます。今回は、17世紀のオランダで活躍したフェルメールの作品を例にとり、そのことを確認してみたいと思います。
	法学専攻	②	13:00 ~ 13:30	L棟	L-1	阪本 尚文	「比較のなかの日本国憲法」 日本国憲法は、人類普遍の原理の成文化であり、他の立憲主義諸国の憲法と比較して標準的な骨格を備えていると言われますが、では、それら諸外国の憲法と比較した際の現行憲法の内容面での特色とは何でしょうか? 比較憲法上の日本国憲法の特徴を明らかにすることを通じて、冷静な憲法論議のためのヒントを提供できれば幸いです。
	地域と行政専攻	③	13:45 ~ 14:15	L棟	L-1	鈴木 典夫	「ユニバーサルデザイン(UD)と福祉」 UDとは「できる限り利用可能で安全・安心・快適なデザイン」です。UDと言えば「ものづくり」かもしれませんが、街路・建造物・交通に及び「まちづくり」も目標に入ります。では、高齢社会、障がい者の社会参加、子育ての面でUDにはどんな意義があるのでしょうか。UDの価値観を理解し、UDから福祉を考えてみましょう。
経済経営学類	経済分析専攻	①	9:50 ~ 10:20	M棟	M-4	佐藤 英司	「競争の意義と経済学の役割」 競争についてよくないイメージを持つ人が多いようです。しかし、現代経済では競争が必要不可欠になっています。では、なぜ競争が必要不可欠なのでしょう。この講義では、現代経済における競争の意義と経済学の役割を紹介いたします。
	国際地域経済専攻	②	11:00 ~ 11:30	L棟	L-2	吉田 樹	「地域を元気にする公共交通デザイン」 人口減少時代の地域経済では、地域内さらには地域内外で人やモノ、お金や情報の循環を創り出すことが求められます。暮らしや、おでかけの「足」である公共交通は、人の対流を促進し、地域を元気にするツールに活かすことができます。公共交通を活用した地域活性化のデザインについて、経済学的な視点を交えて紹介します。
	企業経営専攻	③	13:45 ~ 14:15	L棟	L-2	根建 晶寛	「最近の経済・社会問題が次世代に与える影響」 わが国では、高齢化社会、非正規雇用、貧困問題、人工知能の発達など数えきれないほど問題が存在します。この講義では、一連の実態を振り返り、各種の現象が今後与えるメリット・デメリットを説明します。現状を丁寧に説明した上で、今後次世代がどのように現状に対応し、活躍することができるか考えていきます。
共生システム理工学類	産業システム工学専攻	①	10:50 ~ 11:20	L棟	L-3	佐藤 理夫	「実験&トークライブ 冷たくてあぶないものについて」 どうして二酸化炭素ガスがドライアイスになるの? 液体窒素に風船を入れたらどうなるの? たくさん使うガスはどうやって運ぶの? 「物質の基礎」から「ものづくりの現場」まで、身近な物質を例に実験して解説します。冷たい実験をして涼しくなり、あぶない話を聞いて背筋まで寒くなって、猛暑のオープンキャンパスを楽しもう!
	環境システムマネジメント専攻	②	11:45 ~ 12:15	L棟	L-3	大橋 弘範	「大学と化学とエネルギーと」 みなさんの生活に必要な「電気」、これを生み出す様々な発電方法について、化学の視点や政治の視点からお話します。その上で、大学で理科や数学等の理工系科目を専門として学ぶ意義と、答えのない問題に取り組む楽しさについて、大学1年生向けの初年次教育の講義を再構成してお話します。最後に時間があまりましたら、私が持っている放射性セシウムに関する最新の研究を紹介いたします。
	人間支援システム専攻	③	13:45 ~ 14:15	L棟	L-3	山口 克彦	「実験&トークライブ 実験を通して知る物理の世界」 実験を通して、低温と真空の世界を見てみましょう。低温の実験では、電気の流れ方と磁石の強さが室温と比べてどう変わるのかを観察して、ミクロな電子の振る舞いについて考えてみたいと思います。また、真空の実験では、空気を抜いた箱の中で気体や液体がどうなるかを観察して、大気圧について考えてみたいと思います。
食農学類(仮称)※	—	①	11:00 ~ 11:30	M棟	M-21	高田 大輔	「福島「桃」学」 福島県の夏の特産品「桃」について、魅力をたっぷりお伝えします。「福島の桃の特徴は?」「山梨や岡山の桃とどのように違うの?」「福島で桃の栽培が始まったのはいつ?」「福島の桃のおいしさの秘密は?」「福島の桃の未来は?」...これからの農業を考える皆さんに、ぜひご来場いただき、楽しんでほしいと思います。
	—	②	11:45 ~ 12:15	M棟	M-21	荒井 聡	「田んぼと生物多様性」 田んぼ(水田)で米づくりをしながら、同時に、そこで多くの生き物が生息できる条件を維持することが可能でしょうか? この講義では、ドジョウなどの水生生物を生かしながら、コウノトリなどの希少生物と共生する米づくりをする全国の先進事例について解説します。環境と農業を両立させることの価値について、皆さんと一緒に考えたいと思います。
	—	③	12:30 ~ 13:00	M棟	M-21	林 薫平	「豚の放牧と「里山レストラン」」 豚を放牧で育てられることは知っていましたが? 豚は、荒れた里山に放すと、ヤブになった草を根っこまできれいに食べてくれて、まるまる太ります。福島で、豚の放牧によって里山を管理して、そこで育った豚の肉を、「里山レストラン」で美味しく調理して提供するという取り組みが始まっています。この講義で、概要を紹介します。
環境放射能研究所	—	①	10:20 ~ 10:50	M棟	M-24	塚田 祥文	「土壌・水・作物のどこに放射性セシウムはあるの?」 大気圏核実験、チェルノブイリ原発事故、東電福島第一原発事故などによって、1940年代から環境のいたるところに放射性セシウムは存在しています。それでは、我々の身近な環境である「土壌・水・作物」のどこに放射性セシウムが存在しているのでしょうか。講義では、図を使ってわかりやすくそのイメージとメカニズムをお伝えします。
	—	②	12:30 ~ 13:00	M棟	M-24	脇山 義史	「水と土砂と放射性セシウムの動き」 大地に降り注いだ放射性セシウム。雨が降るとその一部が河川や湖に流れ込むことが知られています。この講義では、水と土砂と一緒に動く放射性セシウムについて概説し、私たちの研究によってわかってきたことを紹介します。

※食農学類(仮称)は、2019年4月設置構想中です。内容は構想中のもので、今後の検討により変更になる場合があります。